



卵黄着色剤の種類を再確認しましょう ～卵の差別化販売のキーポイント

この頃は社会情勢を反映してスーパーなどに行くとき畜産物でも価格の安いものが人気があるようだ。肉は牛にせよ豚にせよ小間切れ肉が多く、牛乳は成分調整した低脂肪乳などが多く並ぶ。また、食卓には頻りに鶏肉のメニューがのぼるようになった。

鶏卵もレギュラー卵の割合が増えたほか、特徴鶏卵でも比較的価格の安いものの割合が増えた。

全国の特徴鶏卵の事情に詳しい人に聞くと、数百種類の特徴鶏卵があったが、そのうちかなりのものが終売、休売をしているという。特徴鶏卵は市場に合わせてその内容が変化しているということだろう。

とはいえ、少しでも差別化をして売るといことはますます重要になっている。先日東京で開催されたアグリフード EXPO でも収益性の高い加工卵や特徴鶏卵をアピールする展示を多く目にした。

そこで今回は特徴鶏卵の最も重要な要素ともいえる卵黄色と、それを操作する卵黄着色剤についてあらためて取り上げたい。商品バランスのよい卵をつくる上で参考にしてほしい。

● トウモロコシ、コーングルテンミール 卵黄色 ▶

トウモロコシやコーングルテンミール（トウモロコシからデンプン分を取り除いたもの）は、養鶏の飼料によく使われる。これらはルテインやゼアキサンチンといった黄色色素を含むので、これだけでカラーファン8～9程度のレモン色の卵黄色がつけられる。

● パプリカ 卵黄色 ▶

最も代表的な卵黄着色剤である。パプリカ（赤ピーマン）の乾燥粉末だが、現在はいったん色素のみを取り出し、退色しにくく濃度を一定にしたものが主流である。トウモロコシの黄色とミックスされるので、淡いオレンジから朱に近い色まで添加量に応じて卵黄色を操作できる。

● ファフィア酵母 卵黄色 ▶

アスタキサンチンという色素を多く含む天然酵母である。ファフィア酵母は少量で特に濃い赤色を卵黄色に持たせる。アスタキサンチンは強い抗酸化作用を持つため健康食品や化粧品にも利用される成分である。価格はパプリカより高いが、このような特徴を持った

めに特徴鶏卵向けの素材である。パプリカと組み合わせることもできる。

● カンタキサンチン 卵黄色 ▶

天然に存在する色素だが、同じものが大量に化学合成でき、これがパプリカと似た効果を持つ卵黄着色剤として使用されている。パプリカと比べると使用量はまだまだ少ない新参の原料だが、パプリカよりいくらか安価なので、ほかの差別化要素と組み合わせることでコスト削減に使う方法も考えられる。

● マリーゴールド花弁色素 卵黄色 ▶

トウモロコシにも含まれるルテインという色素を多く含んでいる。黄色色素が特に効果を発揮するのは卵を加熱調理したときで、卵黄が通常よりさらに鮮やかな黄色になる。ルテインは眼病予防に効果があるともいわれ、健康食品の資材にもなっている。

「くみあい養鶏生産性向上ヒント集」のご紹介

このたび全農グループでは系統グループをあげて取り組んでいる生産性向上対策の一環として、「くみあい養鶏生産性向上ヒント集」を発行しました。

内容は養鶏生産には三つの柱があると考え、通常の飼養管理と、格卵の低減、日常の衛生管理の3点を中心に基礎的なポイントをまとめました。

ある日突然成績が上がることはありません。いつもの管理を少し見直し、基本にかえることも大切です。傍らに置き、時々めくっていただければ幸いです。

ご希望の方は、お近くのJAグループ窓口までお問い合わせください。



繁殖部門における最新機材について ～機能向上で作業効率がアップ

去る7月8～10日、8年ぶりにIPPS（国際養鶏養豚総合展）が開催された。参加された方も多かったのではないだろうか。興味深い機器がさまざま出展されていたが、リキッドフィーディングシステムやソーティングシステム、種豚の大群飼育用フィーディングシステムなど、大きな投資を必要とする「大物」が多く、今すぐに導入しよう！というわけにはいかないものが大半であった。

一方で、目をひくわけではないが、小粒ながらもきらりと光る「気になる小物」もあった。今回は、(株)フロンティアインターナショナルが出展していた二つの機材（資材）についての紹介である。

今後この「畜種トピックス」では、生産性向上に効果のある「気になる小物」も適時紹介していきたい。

● GEDIS（ゲディス）

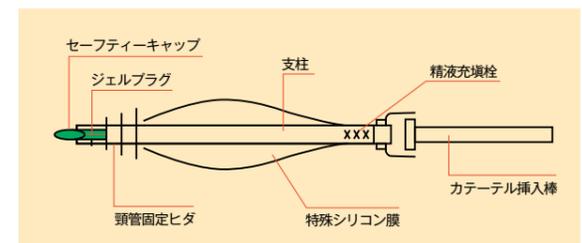
ゲディスは人工授精器材では世界最大手であるフランス・IMVテクノロジー社製の豚用人工授精カテーテルだ。2000年販売開始後、02年にはEU諸国で採用、その後カナダ、アメリカにも広がり、07年時点では年間500万本が使用されている。

ゲディスの特徴は、カテーテルとボトルが一体化したオール・イン・ワンカテーテルであるということ。カテーテル本体の周りの特殊シリコンゴム内に精液を注入した状態で使用する。

これを発情母豚の膣に先端部が子宮頸管にかかるよ



人工授精器材ゲディス（外観・精液注入後の様子）



ゲディス（内部構造・模式図）

う挿入、すると豚の体温によりストッパーが解除され精液が噴出する（噴出まで約10分以内）。あとは噴出終了したカテーテルを回収するだけだ。

この簡単な作業だけで種付けが終わる。すなわち圧倒的に作業性が向上（多くは1頭につき2分以内）し、かつ受胎率が熟練者から初心者まで深部注入カテーテルと変わらぬ成績を可能にする。

● パーチャルスキャン

安定的な養豚経営には適切な（無駄を省いた＝空胎期間のない）繁殖管理が重要なほうというまでもない。そのため、実際に妊娠の状態を超音波画像で確認するなどは、すでに当たり前になってきた。

今回国内で販売が開始されたフランス・ECM社製パーチャルスキャン（20動薬第3394号）は、これまでのポータブル超音波画像妊娠鑑定機とはコンセプトを異にする豚用妊娠診断装置である。

まず妊娠鑑定に特化、従来からあった不要な機能を排除し、スイッチ一つの簡単操作が可能だ。画像表示は液晶モニターを排し発光ダイオードを採用。これにより消費電力が抑えられ、1回の充電で5時間の連続運転が可能になっただけでなく、低価格化も実現した。

さらにプローブと本体を一体化することで世界最小最軽量450gのコンパクト妊娠鑑定装置となっている。

周波数は5MHz、探査角度70°、探査深度10cmと基本性能は従来製品と遜色ない。



軽量化と電力コストの削減で、ますます多様なニーズにこたえることが可能となった

二つの機材に関するお問い合わせは
(株)フロンティアインターナショナル TEL: 044-980-2226